

SEKISUI

# 積水化学グループ報告書

---

# 2014

(2013年4月1日～2014年3月31日)



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。積水化学グループの連結業績、経営課題への取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

2009年度からスタートした中期経営計画「GS21-SHINKA!」の仕上げの年となる2013年度の連結業績は、売上高は前年度比7.6%増の11,108億円、営業利益は前年度比38.4%増の825億円となり、4期連続して増収増益となりました。営業利益は過去最高を更新し、中期経営計画の当初目標800億円を上回ることができました。

なお、2013年度の期末配当金につきましては、1株につき12円とし、第92回定時株主総会に上程させていただき、ご承認をいただきました。当年度の1株あたり年間配当金は、2013年12月にお支払いした中間配当金11円と合わせまして、前年度より5円増額の23円となります。

本年4月、積水化学グループは、新たな3カ年の中期経営計画「SHINKA!-Advance2016」を策定いたしました。グループビジョンに掲げる「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」を両輪にして、2016年度

に売上高12,500億円、営業利益1,000億円、ROE10%以上の達成を目指してまいります。

初年度となる2014年度は、国内では、消費税増税による反動減の最小化を図るとともに、生産・物流など経営基盤の効率化を目指します。海外では、新興国市場や高機能製品など成長分野の展開を加速します。さらに、新製品開発や新事業推進にも取り組みます。これらを確実に実行に移し、売上高は431億円増加の11,540億円、営業利益は44億円増加の870億円、当期純利益は48億円増加の460億円を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

代表取締役社長 根岸 修史

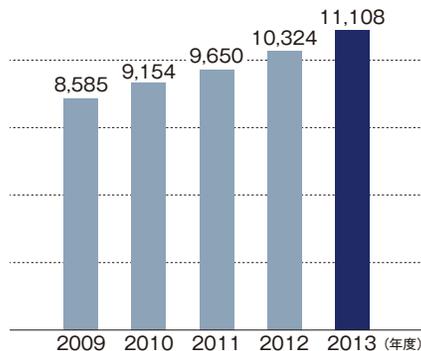


# 積水化学グループ2013年度決算のご報告

## 売上高

11,108億円 (前年度比 +7.6%)

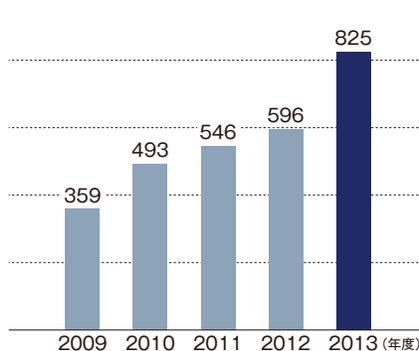
(単位:億円)



## 営業利益

825億円 (前年度比 +38.4%)

(単位:億円)



## 年間配当金

23円 (前年度比 +5円)

(1株あたり、単位:円)



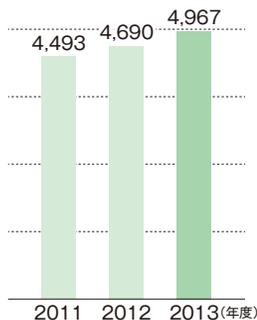
- 2 -

## Housing Company

### 住宅カンパニー

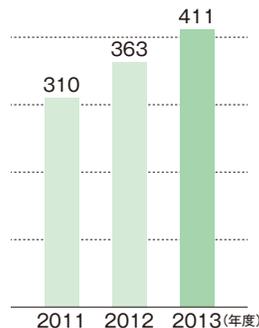
(単位:億円)

#### 売上高の推移



(単位:億円)

#### 営業利益の推移

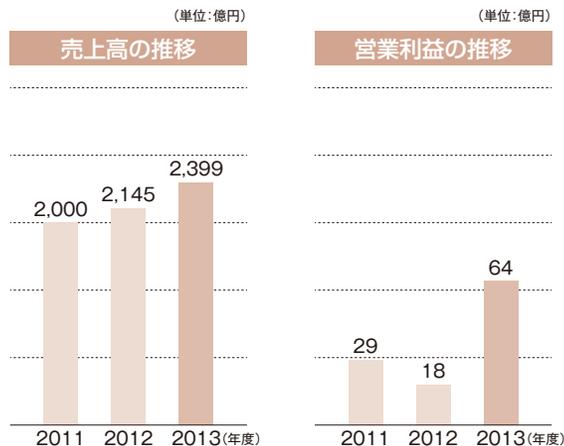


### 2013年度の実績

- 消費税増税前の需要を着実に獲得したことにより、売上高は前年度比277億円増加の4,967億円、営業利益は47億円増加の411億円となり、増収増益となりました。
- 新築住宅事業は、「大容量太陽光発電システム」「スマートハイム・ナビ (HEMS)」「e-Pocket (定置型大容量蓄電池)」を搭載した「進・スマートハイム」の拡販に注力し、消費税増税前の需要を着実に獲得しました。
- 住環境事業は、太陽光発電システムやバスコア・キッチンなどの重点商材の拡販に努めたことに加え、営業人員の増強と教育研修による早期戦力化を進めたことにより、売上は順調に推移しました。

- 3 -

## 環境・ライフラインカンパニー



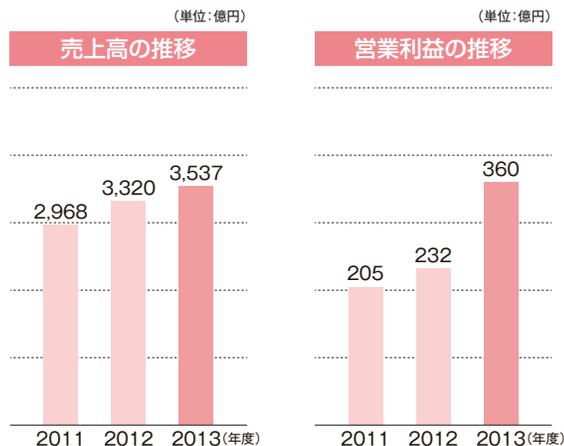
### 2013年度の実績

- 堅調な需要の獲得やバリューチェーン改革の進捗などにより、売上高は前年度比245億円増加の2,399億円、営業利益は46億円増加の64億円となり、増収増益となりました。
- 国内事業は、公共投資や消費税増税前の旺盛な建設需要の獲得や、2012年度に実施した三菱樹脂株式会社からの管材事業の譲受けが業績に寄与したことなどにより、塩化ビニル管を中心に売上が増加しました。
- 海外事業は、米国のプラスチックシート事業が好調に推移したことに加え、中国では新規連結子会社が業績に寄与しました。欧州の管路更生事業は構造改革が進捗し、採算性が改善しました。

- 4 -

## High Performance Plastics Company

## 高機能プラスチックカンパニー



### 2013年度の実績

- 積極的な海外展開が奏功したことや為替などの環境改善により、売上高は前年度比217億円増加の3,537億円、営業利益は前年度比128億円増加の360億円となり、増収増益となりました。
- 車輦分野は、米国や新興国を中心に需要が好調に推移し、高機能製品を中心に売上が増加しました。
- IT分野は、微粒子群、感光性シール材などの液晶ケミカル製品や工業テープなど、モバイル端末向け製品の販売が拡大し、売上が増加しました。
- メディカル分野は、検査薬・検査機器の海外拡販が進捗し、売上が増加しました。

- 5 -

### エネルギーの自給自足を目指す「スマート・パワーステーション」シリーズを発売



「スマート・パワーステーション」

昨年10月、標準的な住宅規模においても10kW以上の太陽光発電システムの搭載を可能にし、エネルギーの自給自足を目指す「スマート・パワーステーション」シリーズを発売しました。

### 水処理膜モジュールおよびユニット「FILTUBE®」を発売

本年5月、上下水道や産業用排水処理向けの水処理膜モジュールおよびユニット「FILTUBE®」を発売しました。当社が開発した親水性を有する新素材により、高い透水性能を実現しました。今後、工場排水処理や上下水処理場の既存施設を活用した改修提案など、幅広い分野での採用を目指します。



「FILTUBE®」モジュール

- 6 -

### タイに塩素化塩化ビニル(CPVC)コンパウンド生産・販売会社を設立



樹脂配管の原料となるCPVCコンパウンド

本年1月、タイにCPVC樹脂のコンパウンド生産・販売会社を設立しました。新たにCPVC樹脂・コンパウンドの生産拠点を新設し、南アジアやASEAN、中東におけるシェア拡大を目指します。

### 「積水化学 化学教室プログラム」が「キャリア教育アワード」奨励賞受賞



「積水化学共催 化学教室」(米国・ニュージャージー州)

積水化学グループでは、社員が事業所付近の中学校に出張する「化学教室」や、事業所付近の小学生を対象にした「子供向け地域イベント」を2008年度から実施しています。この活動は高く評価され、経済産業省の第4回「キャリア教育アワード」奨励賞を受賞しました。

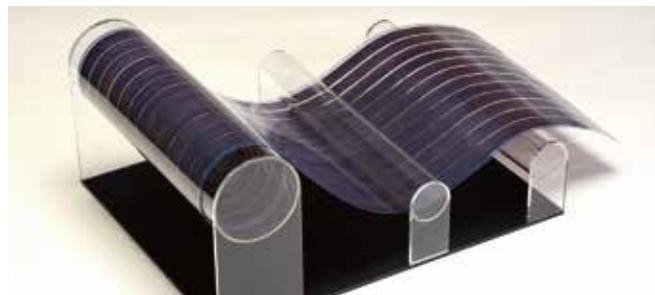
- 7 -

## フィルム型リチウムイオン電池の開発



昨年12月、高生産性、フレキシブル、薄型、長尺・大面積の大容量フィルム型リチウムイオン電池の開発を発表しました。現在のリチウムイオン電池に比べ、薄型、軽量、省スペース、大容量・高安全が期待できるため、今後、量産化に向けた取り組みを加速させます。

## 色素増感型太陽電池の開発



昨年12月、独立行政法人産業技術総合研究所と共同して、世界で初めて室温成膜を可能にし、かつ、軽量で設置が容易な色素増感型太陽電池の試作に成功しました。今後、量産化に向けた取り組みを加速し、自社製品を含め、さまざまな用途への展開を検討していきます。

- 8 -

## 連結財務データ

### 連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

	2013年度末	2012年度末
流動資産	494,660	439,964
固定資産	466,349	461,600
資産合計	961,009	901,564

(単位:百万円)

	2013年度末	2012年度末
流動負債	388,365	335,539
固定負債	99,089	132,797
負債合計	487,454	468,336
純資産合計	473,555	433,228
負債純資産合計	961,009	901,564

### 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	2013年度	2012年度
売上高	1,110,851	1,032,431
営業利益	82,541	59,621
経常利益	83,310	60,670
純利益	41,190	30,174

### 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

	2013年度	2012年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,720	71,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 60,914	△ 31,133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 49,803	△ 30,520

- 9 -

## 株式の状況 (2014年3月31日現在)

### 発行株式数および株主数

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
1,187,540,000株	532,507,285株	21,625名

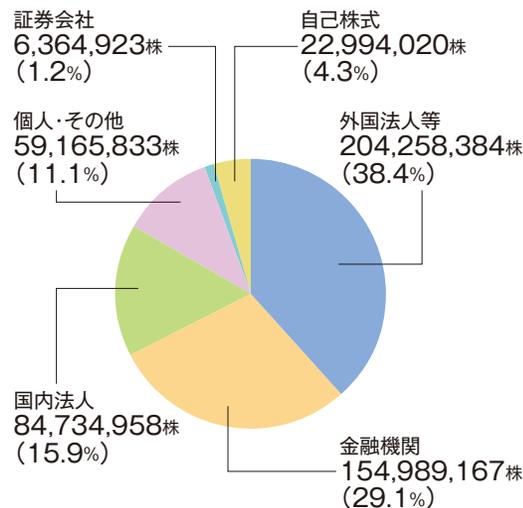
### 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
旭化成株式会社	31,039	6.09
積水ハウス株式会社	25,592	5.02
第一生命保険株式会社	19,681	3.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,415	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,375	3.01
東京海上日動火災保険株式会社	13,937	2.73
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	12,776	2.50
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	9,813	1.92
積水化学グループ従業員持株会	9,579	1.88
ザチースマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント	7,992	1.56

(注)1.当社は、自己株式を22,994,020株保有していますが、上記大株主からは除いています。  
2.持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

-10-

### 株式の所有者別分布状況



## 株主メモ

### 株式に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

電話(通話料無料) **0120-094-777**

- 三菱UFJ信託銀行では、特別口座に記載された株式をお持ちの株主様のお手続きのみを取り扱うこととなりますので、ご注意ください。
- その他の株主様の各種お手続きは、口座を開設されているお取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いたします。

### 住所変更、単元未満株式の買取、配当金の受取方法のご指定等のお申し出について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

### 配当金計算書の送付について

配当金のお支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告される際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引先の証券会社等にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

## 会社概要 (2014年3月31日現在)

### 積水化学工業株式会社 (Sekisui Chemical Co., Ltd.)

創 立: 1947年(昭和22年)3月3日  
資 本 金: 1,000億237万5,657円  
本 社: 〒530-8565 大阪市北区西天満2丁目4番4号  
グループ従業員数: 23,017名  
ホ ー ム ペ ー ジ: <http://www.sekisui.co.jp/>  
事 業 年 度: 4月1日から翌年3月31日まで

### 取締役および監査役 (2014年6月27日現在)

代表取締役社長	根岸 修史	社外取締役	長島 徹
取締役	高下 貞二	社外取締役	石塚 邦雄
取締役	高見 浩三	常勤監査役	松永 隆善
取締役	久保 肇	常勤監査役	辻 清孝
取締役	上ノ山智史	社外監査役	長田 洋
取締役	関口 俊一	社外監査役	大西 寛文
取締役	加藤 敬太	社外監査役	小澤 徹夫

### 投資家情報ウェブサイト

<http://www.sekisui.co.jp/ir/>  
2013年度の連結財務諸表や決算説明会などの情報を提供しています。

### 開示情報のメール発信サービス

<http://www.sekisui.co.jp/ir/newsmail/>  
積水化学の開示情報に関するお知らせを電子メールにて、直接、ご指定のメールアドレスにお送りするサービスです。

-12-

## 定時株主総会に関するご報告

平成26年6月26日に開催されました当社第92回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご報告申し上げます。

### 報告事項

第92期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容についてご報告いたしました。

### 決議事項

#### 第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、配当は1株につき12円と決定いたしました。

#### 第2号議案 取締役9名選任の件

本件は、原案どおり、根岸修史、高下貞二、高見浩三、久保 肇、上ノ山智史、関口俊一、加藤敬太、長島 徹、石塚邦雄の各氏が選任され、就任いたしました。なお、長島 徹、石塚邦雄の両氏は、社外取締役です。

#### 第3号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案どおり、松永隆善、小澤徹夫の両氏が選任され、就任いたしました。なお、小澤徹夫氏は、社外監査役です。

#### 第4号議案 ストックオプションとして新株予約権を発行する件

本件は、会社法第236条、第238条および第239条の規定にもとづき、当社子会社の代表取締役および一部取締役ならびに幹部従業員、当社株分法適用会社のうち当社の議決権所有割合が35%超50%未満の4社の代表取締役に対し、ストックオプション付与を目的として新株予約権を発行すること、ならびに、かかる新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任することについて、原案どおり承認可決されました。

#### 第5号議案 当社株券等の大規模買付行為への対応策(買収防衛策)更新の件

本件は、原案どおり、承認可決されました。

-13-

# 積水化学工業株式会社

株主様のお問い合わせはこちら

法務部総務グループ

電話: **06-6365-4119**

商品に関するお問い合わせはお客様相談室へ

(東京)電話: **03-5521-0505**

(大阪)電話: **06-6365-4133**

この報告書は以下のような環境配慮をして印刷・製本しています。

- ①製版工程では、使用後に廃材となるフィルムを使用しない、ダイレクト刷版「CTP(Computer to Plate)」を用いています。
- ②印刷工程では、VOC(揮発性有機化合物)の発生が少なく、生分解性や脱墨性に優れたインキを使用しています。